

中小企業景気動向調査結果

(平成28年10月～12月期実績と平成29年3月期の見通し)



第 11 回

発行日 2017.1.5

調査日 平成28年11月中旬

調査方法 当金庫職員による面接聴き取り調査

調査対象 当金庫取引先116社(製造業 40社、卸売業 7社、小売業 25社、サービス業 16社、建設業 21社、不動産業 7社)

有効回答率 84%

分析方法 (DI): diffusion index 「良い」とみる割合から「悪い」とみる割合を引いたもの。

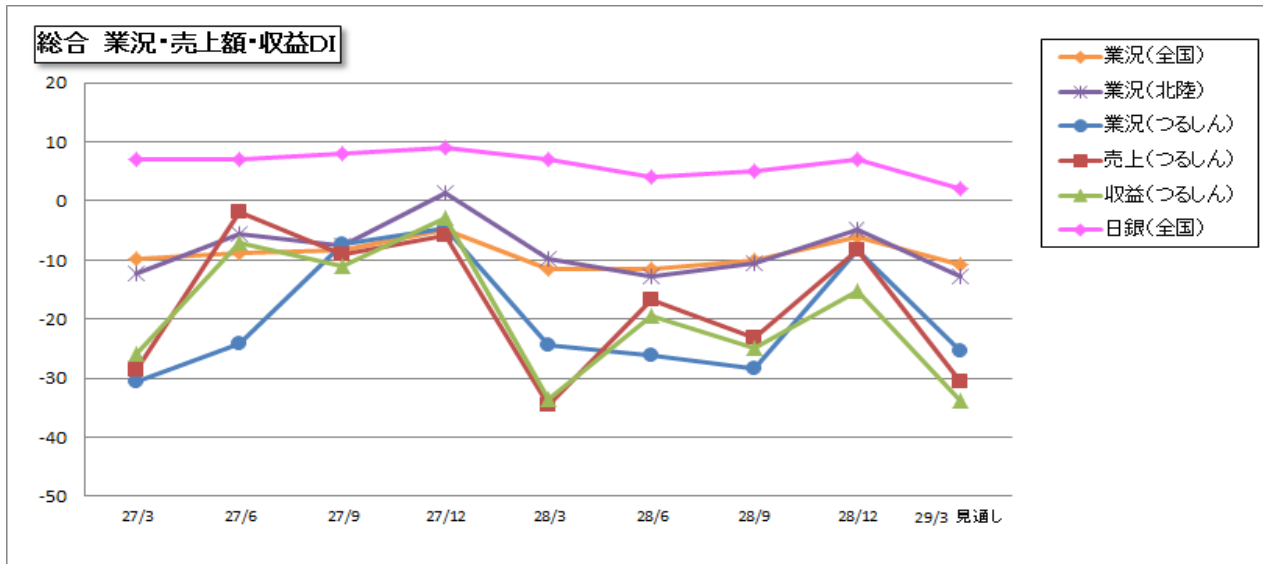
「良い」(上昇) および「やや良い」(やや上昇) の割合 - 「悪い」(低下) および「やや悪い」(やや低下) の割合。

概 況 10～12月期業況の改善幅は、予想を上回る上げ幅となりました

今期の全業種総合業況DIは、前回調査時点では▲22.5と予想していたが、▲8.2と前期比20.2ポイント改善となりました。また、次回見通しについては、▲25.5と大幅な低下も見通しとなっています。

売上額DIは、前期比14.9ポイント改善の▲8.2、収益DIは、前期比9.7ポイント改善の▲15.3となりました。

全業種総合業況DIの来期見通しは、「つるしん」、「北陸」、「全国」とも大幅な低下の見通しとなっています。



※ 全国・北陸のデータは、信金中央金庫の「全国中小企業景気動向調査」を参照しています。

【業種別業況天気図】

業種別業況天気図	27年12月	28年3月	28年6月	前回 28年9月	今回 28年12月	次回見通し 29年3月
総合	☁️ -4	☁️ -24	☔️ -26	☔️ -28	☁️ -8	☔️ -25
製造業	☁️ -10	☔️ -33	☔️ -34	☔️ -28	☁️ -12	☔️ -27
卸売業	☁️ -14	☔️ -83	☔️ -50	☔️ -83	☁️ -16	☔️ -66
小売業	☁️ -22	☔️ -26	☔️ -46	☁️ -24	☔️ -45	☔️ -50
サービス業	☁️ 0	☁️ -13	☁️ -14	☔️ -36	☁️ 15	☁️ -15
建設業	☀️ 35	☁️ 0	☁️ 15	☁️ -5	☁️ 15	☁️ 0
不動産業	☔️ -40	☁️ -14	☔️ -43	☔️ -43	☁️ 14	☁️ 0

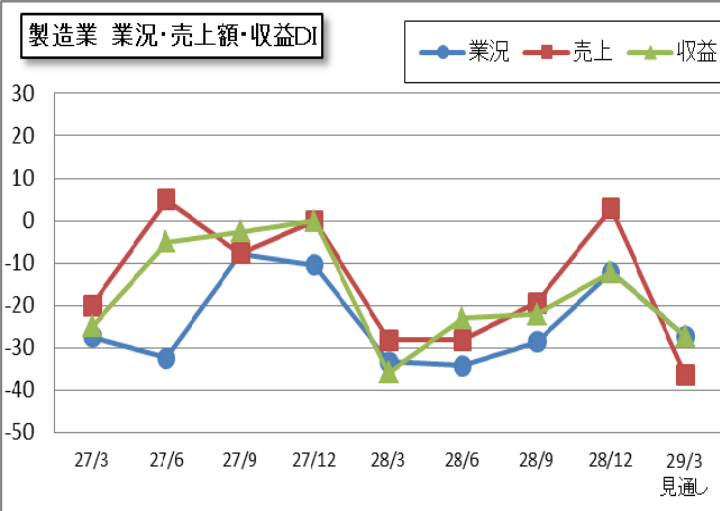
好調 ← (業況DI目安) 100 ← ☀️ 40 ← ☀️ 25 ← ☁️ 0 → ☔️ △25 → ☔️ △40 → 低調 △100

業種別の特徴(業況DI)

製造業

今回調査業況DIは、「▲12.1」

～ 前回調査比 16.5ポイントの上昇 ～



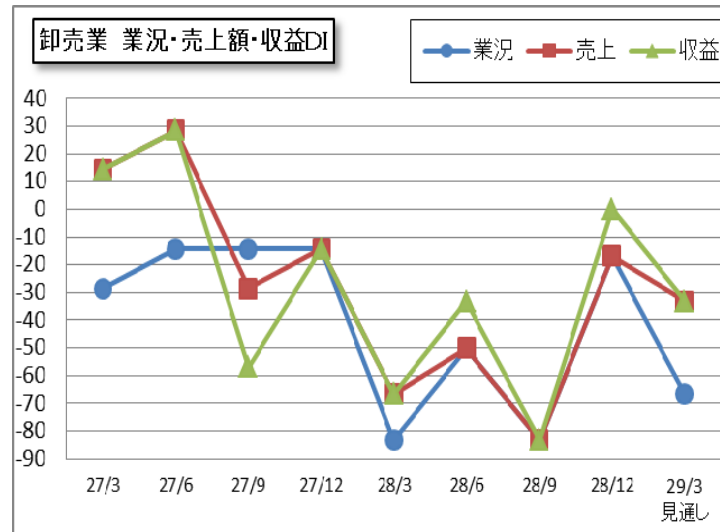
【製造業 主要DI】

	28年 3月	6月	前回 9月	今回 12月	次回 見通し 29年3月	方向 (前回比)
業況判断	▲33.3	▲34.2	▲28.6	▲12.1	▲27.3	↗
売上額	▲28.2	▲28.2	▲19.4	3.0	▲36.4	↗
収益	▲35.9	▲23.1	▲22.2	▲12.1	▲27.3	↗
販売価格	▲2.6	▲7.9	▲5.6	▲3.1	▲6.3	↗
原材料価格	5.3	5.3	8.6	0.0	3.2	↘
原材料在庫	▲5.4	▲5.4	0.0	▲6.5	▲6.7	↘
資金繰り	▲17.9	▲25.6	▲19.4	▲6.1	▲15.2	↗
人手	▲2.6	2.6	▲8.6	▲9.7	▲12.9	↘

卸売業

今回調査業況DIは、「▲16.7」

～ 前回調査比 66.6ポイントの上昇 ～



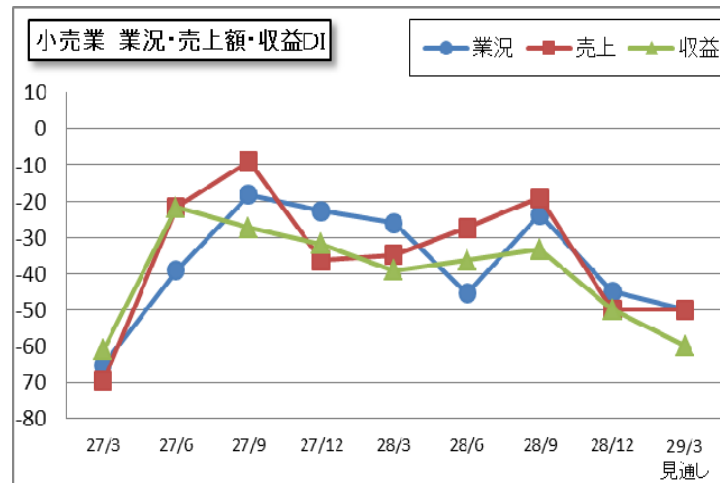
【卸売業 主要DI】

	28年 3月	6月	前回 9月	今回 12月	次回 見通し 29年3月	方向 (前回比)
業況判断	▲83.3	▲50.0	▲83.3	▲16.7	▲66.7	↗
売上額	▲66.7	▲50.0	▲83.3	▲16.7	▲33.3	↗
収益	▲66.7	▲33.3	▲83.3	0.0	▲33.3	↗
販売価格	16.7	▲16.7	▲16.7	▲16.7	▲16.7	→
仕入価格	66.7	50.0	▲16.7	16.7	0.0	↗
在庫	0.0	▲16.7	16.7	0.0	0.0	↘
資金繰り	▲16.7	16.7	▲33.3	▲16.7	▲16.7	↗
人手	▲16.7	33.3	▲16.7	▲16.7	▲16.7	→

小売業

今回調査業況DIは、「▲23.8」

～ 前回調査比 21.2ポイントの低下～

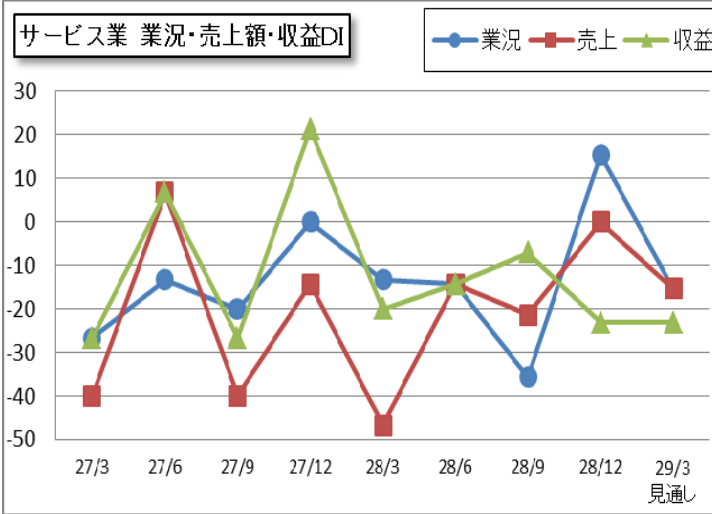


【小売業 主要DI】

	28年 3月	6月	前回 9月	今回 12月	次回 見通し 29年3月	方向 (前回比)
業況判断	▲26.1	▲45.5	▲23.8	▲45.0	▲50.0	↘
売上額	▲34.8	▲27.3	▲19.0	▲50.0	▲50.0	↘
収益	▲39.1	▲36.4	▲33.3	▲50.0	▲60.0	↘
販売価格	0.0	0.0	▲4.8	▲20.0	▲15.0	↘
仕入価格	30.4	22.7	16.0	15.0	10.0	↘
在庫	0.0	▲4.5	0.0	0.0	5.0	→
資金繰り	▲39.1	▲22.7	▲28.6	▲25.0	▲30.0	↗
人手	0.0	▲21.1	▲10.0	▲22.2	▲17.6	↘

サービス業

今回調査業況DIは、「▲35.7」 ～ 前回調査比 51.1ポイントの上昇 ～

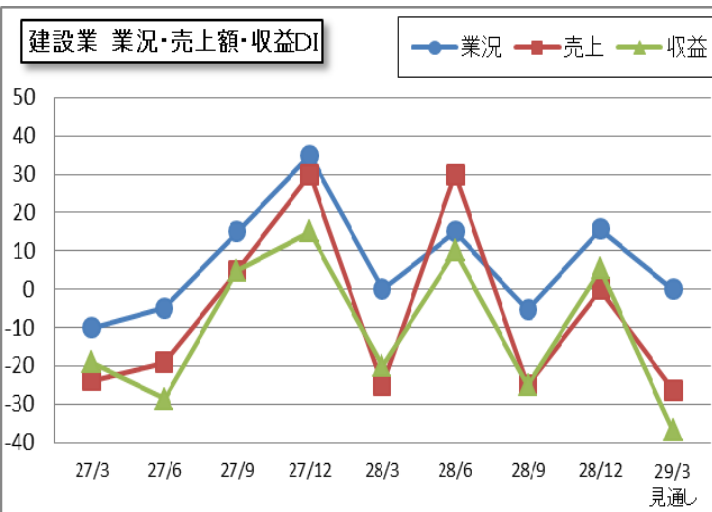


【サービス業 主要DI】

	28年 3月	6月	前回 9月	今回 12月	次回 見通し 29年3月	方向 (前回比)
業況判断	▲13.3	▲14.3	▲35.7	15.4	▲15.4	↗
売上額	▲46.7	▲14.3	▲21.4	0.0	▲15.4	↗
収益	▲20.0	▲14.3	▲7.1	▲23.1	▲23.1	↘
料金価格	0.0	14.3	▲14.3	▲7.7	7.7	↗
材料価格	▲6.7	28.6	▲7.1	7.7	7.7	↗
資金繰り	▲13.3	▲21.4	0.0	▲15.4	▲15.4	↘
人手	▲20.0	▲28.6	▲21.4	▲23.1	▲23.1	↘

建設業

今回調査業況DIは、「▲5.3」 ～ 前回調査比 21.1ポイントの上昇 ～

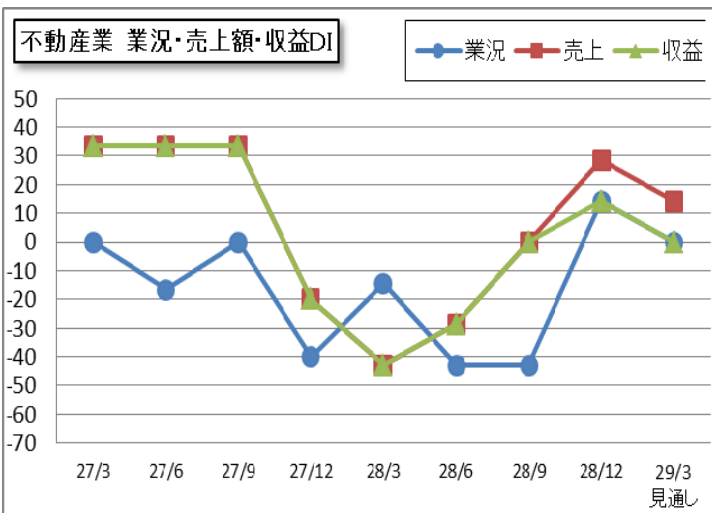


【建設業 主要DI】

	28年 3月	6月	前回 9月	今回 12月	次回 見通し 29年3月	方向 (前回比)
業況判断	0.0	15.0	▲5.3	15.8	0.0	↗
売上額	▲25.0	30.0	▲25.0	0.0	▲26.3	↗
収益	▲20.0	10.0	▲25.0	5.3	▲36.8	↗
請負価格	▲15.0	0.0	▲20.0	0.0	▲5.3	↗
材料価格	20.0	5.0	10.0	31.6	0.0	↗
在庫	0.0	10.5	5.3	5.6	11.1	↗
資金繰り	▲5.0	0.0	▲10.0	5.3	▲10.5	↗
人手	0.0	0.0	▲5.0	▲15.8	▲10.5	↘

不動産業

今回調査業況DIは、「▲42.9」 ～ 前回調査比 57.2ポイントの上昇 ～

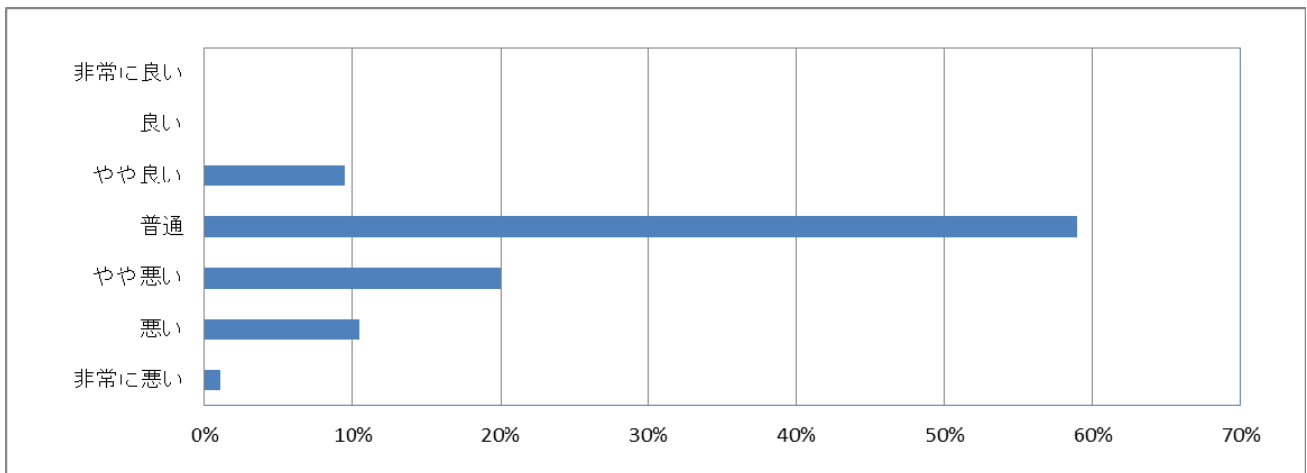


【不動産業 主要DI】

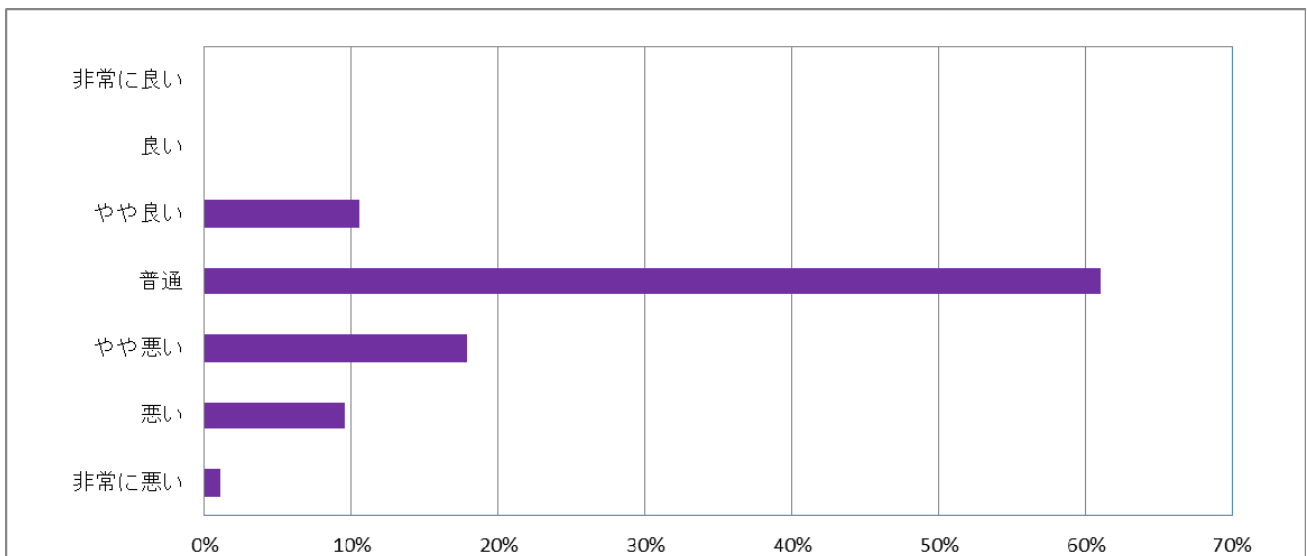
	28年 3月	6月	前回 9月	今回 12月	次回 見通し 29年3月	方向 (前回比)
業況判断	▲14.3	▲42.9	▲42.9	14.3	0.0	↗
売上額	▲42.9	▲28.6	0.0	28.6	14.3	↗
収益	▲42.9	▲28.6	0.0	14.3	0.0	↗
販売価格	▲28.6	▲14.3	▲14.3	14.3	0.0	↗
仕入価格	0.0	▲14.3	▲28.6	0.0	0.0	↗
在庫	▲28.6	▲28.6	▲28.6	▲14.3	▲14.3	↗
資金繰り	▲28.6	▲28.6	▲28.6	▲14.3	▲14.3	↗
人手	▲14.3	▲14.3	0.0	▲16.7	▲16.7	↘

特別調査【2017年(平成29年)の経営見通し】

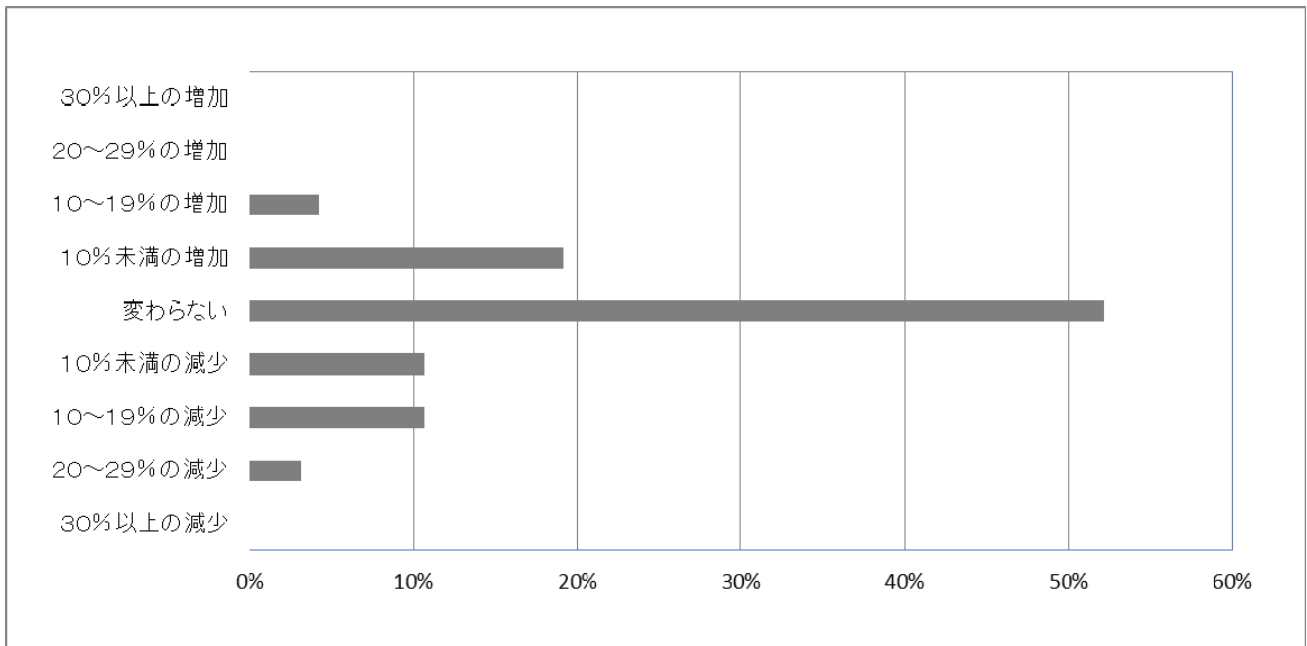
問1. 貴社では、2017年の日本の景気をどのように見通していますか。



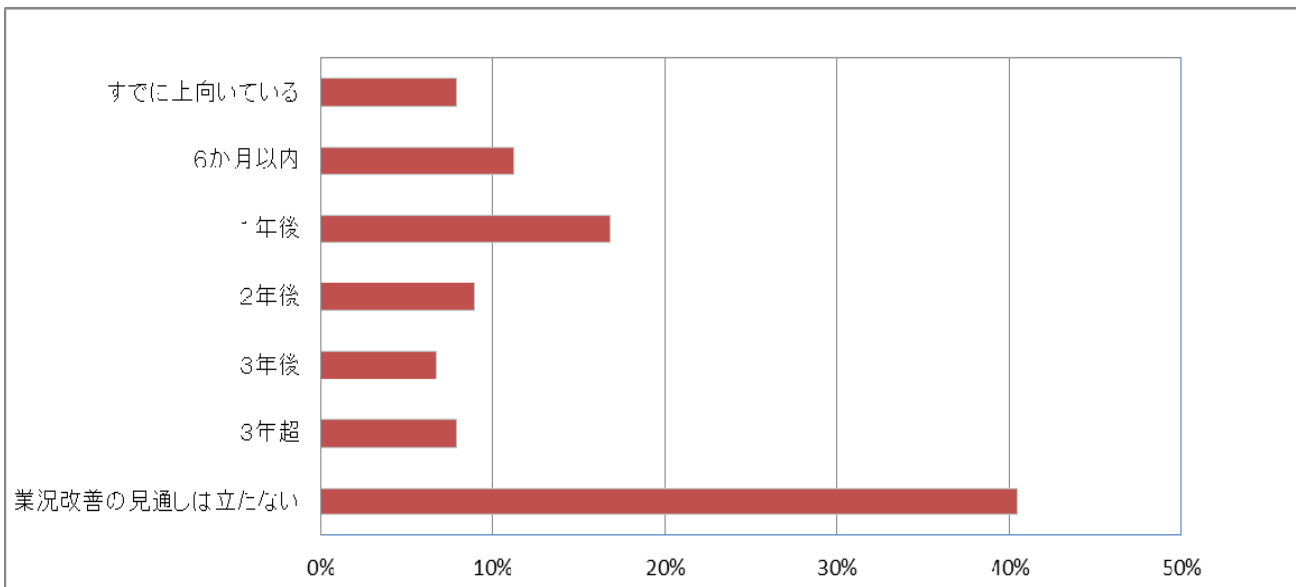
問2. 貴社では、2017年の自社の業況(景気)をどのように見通していますか。



問3. 2017年において貴社の売上額の伸び率は、2016年に比べておおよそどのくらいになると見通していますか。



問4. 貴社では、自社の業況が上向き転換点をいつ頃になると見通していますか。



問5. 日本銀行は、景気を押し上げる目的で、マイナス金利政策を実行しています、貴社では、経営上、どのような影響をうけていますか。

